

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

施策名	観光	施策コード 2-1-1	作成主管課	商工観光課
			関係課	企画政策課 まちづくり推進課

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第2章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産業〕
	小政策	1 笠間を体感できる観光・産業を振興します
現況と課題	<p>本市は、笠間稲荷神社、笠間日動美術館や茨城県陶芸美術館、笠間焼などの歴史的資源・芸術・伝統文化をはじめ、自然環境を背景とした多くの観光資源に恵まれています。また、観光は、産業振興をはじめ、市民活動や高齢者の活躍の場となり得るなど、地域活性化の観点からも重要な要素となっています。これらの観光資源を生かした通年滞在型の観光振興を図るため、平成20年3月に「笠間市観光振興基本計画」を策定し、各種の事業を展開してきました。また、観光協会による旅行商品の販売やグリーンツーリズムを取り入れた農業体験、情報発信としての笠間ファン倶楽部の充実など各種施策の展開や「恋人の聖地」といった新たな視点での取り組みも始められています。</p> <p>しかしながら、本市の平成22年における入り込み観光客数のうち、つつじまつり、陶炎祭、菊まつり、匠のまつり等、春・秋のイベントや初詣における観光客が全体の77%を占めており、依然として通年型観光地への発展が遂げられていない状況となっています。</p> <p>今後は、地域魅力の向上、体験型プランや食の充実、情報発信力の強化、広域観光の推進などに取り組みながら、来訪者が何度でも訪れたくなり、少しでも長く滞在したくなる魅力づくりを進める必要があります。また、観光都市として、災害発生時における適切な避難誘導など、滞在者に対する安心・安全対策にも努めていく必要があります。</p>	
施策目標	人材を含めた豊富な地域資源を観光資産として総合的に活用し、本市の魅力の効果的な発信に努め、観光都市としての魅力向上による通年型観光地を目指すとともに、地域経済の活性化を図ります。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	市民実感性調査においては、観光都市としての魅力の向上については市民の約9割の方が重要と感じているが、魅力が向上していると感じている市民は、6割ほどで昨年度より若干上がっている状況である。観光客動態調査の笠間稲荷神社でのアンケート結果においては、駐車場及び駐車場等案内板の不足についての意見があった。
-------------	---

(1) 目標指標1

市民実感性指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
観光都市としての魅力が向上していると感じている市民の割合	市民実感性	57.630	54.030	61.650			
	加重平均値	2.640	2.608	2.682			
	市民実感性						
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		87.780	88.350			
	加重平均値		3.504	3.467			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
入り込み観光客数	目標値	千人		3,290	3,295	3,295	3,295	3,295
	実績値	千人	3,147	3,473	3,350			
	達成度	%		105.56	101.67			
	ベンチマーク							
観光情報HP(市、観光協会)アクセス数	目標値	件		206,000	240,000	240,000	240,000	240,000
	実績値	件	191,869	220,516	249,683			
	達成度	%		107.05	104.03			
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	茨城県で集計した全国基準である観光客動態調査の入込観光客数を指標に設定し、平成18年度から平成23年度の入込観光客数の平均人数に茨城空港の開港、北関東自動車道の全線開通、東日本大震災後の復興などを考慮した入込観光客数で把握する。観光情報を発信する市及び観光協会のHPのアクセス数で把握する。
	目標値設定の考え方	イベントなどは天候に左右され入込観光客数が大きく増減するが、通年型観光地を目指し安定した入込観光客数の確保に向けた目標値を設定する。HPのツイッターやフェイスブックなどでの観光情報の発信によるアクセス数の増加に目標値を設定する。

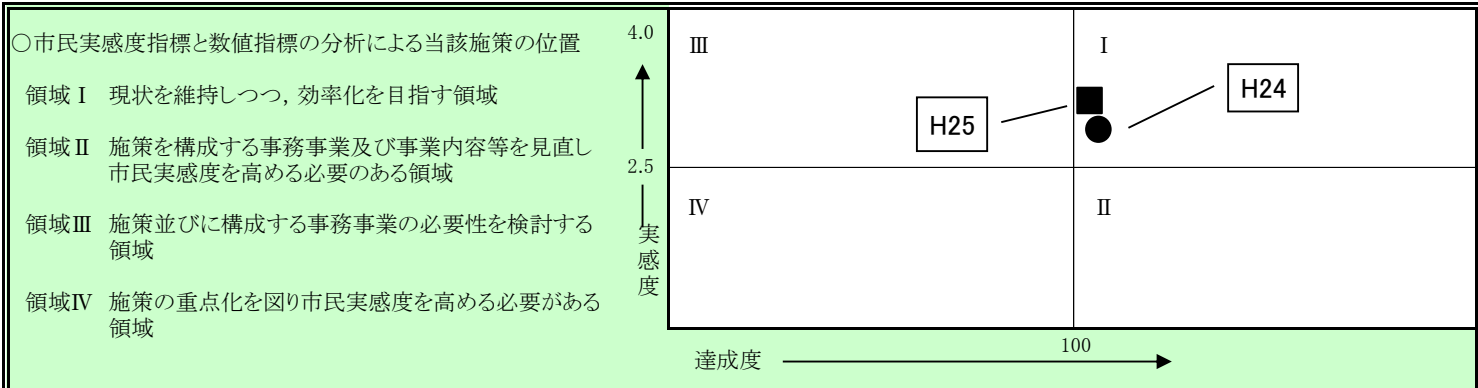
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市民は、地域の自然、歴史文化、伝統行事の保全継承に努めるとともに、観光関連事業者、観光関連団体、行政と協力・連携を図りながら、愛着と誇りを持って主体的に地域づくりに参加する。(笠間市観光振興基本計画)
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 市民、観光関連事業者、観光関連団体との協働のもと、行政各部局の連携を十分に図りながら、観光振興施策を展開するとともに、市民、観光関連事業者、観光関連団体等の独自の取り組みを支援する。(笠間市観光振興基本計画)

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <p>・春、秋のイベント開催に向けて、茨城県庁関係機関や新聞社・テレビ局・ラジオ局等のメディアへの表敬訪問(春4日 秋1日)や、各種観光キャンペーンにおいて各種イベント開催前・開催中に観光PRを行ったことにより集客が図れた。</p>
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	<p>指標を分析した結果施策目標は達成されたのか</p> <p>・入り込み客数は、観光PR等により目標を達成できている。 ・観光情報HPアクセス数は、新聞・テレビ・ラジオ局等のメディアを通じた情報発信を行ったことにより多くのアクセスがあった。</p>
-------	---

構成事務事業の適正性	<p>平成26年度以降に残る課題、その要因として考えられること。</p> <p>・施策目標を達成するために適正である。</p>
------------	---

残された課題	<p>平成26年度以降に残る課題、その要因として考えられること。</p> <p>・天候に左右されるイベント型の集客となっていることから、通年型集客を目指し、笠間市の魅力が発信できるよう観光PRや観光キャンペーンの強化を図る。</p>
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成27年度に向けた施策方針</p> <p>・観光客の増加を図るため、観光PRや観光キャンペーンの連携を強化する。 ・通年型の観光地を目指し、地域資源を生かした観光客の誘致や地域経済発展のため笠間観光協会や観光関連団体との連携強化や支援を検討する。 ・外国人向けHPやパンフレットを作成し、受入態勢の構築・拡充を行う。</p>
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価	
			成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
1	筑波山地域ジオパーク整備事業	周辺の観光資源と融合させたジオツーリズムを新たな観光スタイルとして創出するため、つくば市、石岡市、桜川市と笠間市において筑波山周辺地域ジオパークを整備する。	政策的事業	関係機関協議 ジオツアーコース設定 ジオツアー参加者	回 箇所 人	—	11 — —	11 2 156	市単	—	825	176	7
2	笠間ファン倶楽部推進事業	交流人口の拡充、産業振興や地域の活性化を図るため、自然・歴史・芸術・食など笠間の魅力を感じる方などを「笠間ファン倶楽部会員」とし、体験事業や交流事業等により会員と市民の交流を行う。	政策的事業	ファン倶楽部会員数 観光客数	人	1,692 3,146,500	1,617 3,472,800	1,655 3,350,000	市単	1,578	1,171	1,468	5
3	工芸の丘管理事業	地場産業の振興、体験型施設、観光情報発信機能として整備された施設の魅力を更に高めるため、周辺施設(陶芸美術館、あそぼの杜、イベント広場、陶の小径等)との回遊性を高める。	維持管理事業	工芸の丘販売額	円	239,879,010	242,709,250	230,000,000	市単	9,914	11,134	10,956	1
4	観光施設管理事業	訪問者が快適に利用できるように公園等の維持管理を行う。	維持管理事業	維持管理費用	円	10,976,000	13,042,000	10,796,000	市単	9,851	11,021	10,601	9
5	菊栽培所管理事業	菊まつりに展示する各種の菊を計画的に栽培する。菊栽培技術の広がりを図るために、市民の希望者を募り菊栽培講習会を定期的に行ない、市民菊花展に参加してもらう。	維持管理事業	菊まつり入込客数 市民菊花展参加者数	人	770,000 21	793,000 21	80,900 23	市単	4,010	9,621	9,751	11
6	駐車場管理事業	自家用車等で訪問する市民及び観光客のために駐車場の維持管理を行う。	維持管理事業	年末年始駐車台数	台	5,880	5,824	5,782	市単	7,819	7,498	8,643	9
7	観光協会の強化促進事業	観光事業の振興と地域の健全な発展を図り、市に観光客を誘致し地域経済の発展に資するため、観光協会の育成強化を推進する。	政策的事業	事業収益 協会員数	円 人	1,600,000 410	2,000,000 399	2,000,000 391	市単	24,250	24,250	27,060	9
8	観光動態調査事業	笠間市内の数箇所の観光拠点において、観光客数と年齢・人数・出発地などを調査することにより、観光客の動向を判断するための資料を取得する。	義務的事業	入込観光客数	人	3,146,500	3,472,800	3,350,000	県補助	—	—	—	義務的事業
9	かさま観光大使雇用事業	笠間市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンに参加することによりPRの推進を図る。	政策的事業	出勤日数	日	129	135	157	市単	901	978	1,175	8
10	フィルムコミッション事業	笠間市の豊かな自然、歴史的建造物、公共施設等を市ホームページや茨城県フィルムコミッション推進室との連携を図りながら紹介し、魅力を発信することにより、テレビ・映画等での使用を推進し、笠間市のPRを図る。	政策的事業	FC関係経済効果	円	25,863,785	10,000,000	10,000,000	市単	64	64	64	12
11	観光PR戦略事業	笠間の知名度アップと新規観光客の拡大を目的に、通年滞在型の観光振興を図るため、観光関連団体との連携のもと旅行会社やメディア等に介して観光PRを行う。	政策的事業	入込観光客数	人	3,146,500	3,472,800	3,350,000	市単	3,080	2,468	2,727	3
12	観光周遊バス運行協議会事業	観光客の周遊観光の促進のために平成13年に無料で開始され、平成20年に新型バスが導入されたのを機に有料化で運行されている。	政策的事業	利用者数 観光客動態調査による利用率	人 %	20,443 37	22,821 53	24,568 45	市単	2,400	2,400	2,400	7
13	観光案内所運営委託事業	JR笠間駅前に観光案内所を設置し、観光客の利用向上を図るために観光案内・刊行パンフレットの配布・周辺の清掃等を行う。観光協会に運営を委託する。	政策的事業	利用者数 外国人利用者数	人	25,154 26	24,195 48	22,669 53	市単	2,835	2,835	2,835	9
14	広域観光推進事業	豊かで親しみやすい自然や伝統ある歴史・文化遺産などの多様な観光資源を紹介宣伝し、観光客の誘致を図るとともに、旅行商品の企画・造成を促進しながら、観光振興を図る。	政策的事業	入込観光客数	人	3,146,500	3,472,800	3,350,000	市単	2,180	2,180	2,338	3
15	笠間のまつり事業	市民自らの手で創りあげ、誰でも参加できる市民参加型の祭りとして、平成3年から灯籠流しと光のオブジェ(ねぶた&神輿)のパレードが開催されている。	政策的事業	入込観光客数 参加団体数(パレードのみ)	人 団体	39,000 35	39,000 35	41,000 35	市単	7,290	7,290	7,290	8
16	菊まつり事業	市民参加型で永続的な菊まつりとして開催するため、笠間の菊まつり連絡協議会が主体となって関係機関との連携によりテレビ・新聞社・旅行会社等へのキャンペーンを行い、菊まつりを行う。	政策的事業	入込客数	人	770,000	793,000	809,000	市単	6,939	9,411	9,897	1
17	つつじまつり事業	春を代表するイベントとして、安らぎと癒しを与えるまつりとして実施し、観光客の誘客を図る。	政策的事業	入込客数 入園料	人 円	60,596 13,346,860	48,132 9,256,940	45,637 14,886,160	市単	6,327	6,351	6,527	1
18	恋人の聖地(陶芸の里かさま)事業	市の知名度向上、結婚支援付加価値化、市内の観光施設及び商業施設の回遊性による交流人口の増加等を図るため、県内で唯一選定された恋人の聖地「陶芸の里かさま」に関するPR等を行う。	政策的事業	サポートショップ数	店	9	9	7	市単	515	230	224	10
事業費合計									98,993	122,568	168,134		

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 観光



法定受託事務(義務的事業に分類) 観光動態調査事業
事務事業の成果基準の説明

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 観光

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1 工芸の丘管理事業 菊まつり事業 つつじまつり事業	2 恋人の聖地推進事業	4
3 観光PR戦略事業 広域観光推進事業	5 笠間ファン倶楽部事業 新たな旅行商品開発促進事業	7 筑波山地域ジオパーク整備事業 観光周遊バス運行協議会事業 恋人の聖地関連整備事業
6	8 かさま観光大使雇用事業 笠間のまつり事業 緊急雇用(観光協会業務推進事業) 地域おこし協力隊事業	10 恋人の聖地(陶芸の里かさま)事業
9 観光協会の強化促進事業 観光案内所運営委託事業 観光施設管理事業 駐車場管理事業	11 笠間観光ネットワーク会議運営事業 菊栽培所管理事業 緊急雇用(菊伝承事業)	12 地域振興助成事業 フィルムコミッション事業 緊急雇用(観光施設等整備管理事業) 愛宕山観光施設防水塗装事業 観光駐車場改修事業

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

法定受託事務(義務的事業に分類)

観光動態調査事業

事務事業の成果基準の説明